

# クローゼット内部収納 組立施工説明

## デラックス(DX) ①

### 商品特長 商品一覧

- 室内ドア
- 室内引戸
- 可動  
間仕切り
- クローゼット  
ドア
- 玄関収納
- 造作材  
(DS窓枠)
- 造作材  
(定尺材)
- 腰壁
- 収納
- 手すり

### 規格表

- 室内ドア
- 室内引戸
- 可動  
間仕切り
- クローゼット  
ドア
- 玄関収納
- 造作材  
(DS窓枠)
- 造作材  
(定尺材)
- 腰壁
- 収納
- 手すり
- 有償部品

### 特注対応品

### ガラス寸法

### 基本寸法 納まり図

### 組立施工説明 お手入れ方法

### 発注書

### 用語解説 索引

### お願

- 商品はカラー合板を使用しております。汚れた手袋などで触れたり、傷をつけないよう、運搬、施工時の取扱いには十分に注意してください。汚れは柔らかい布に中性洗剤を含ませて、軽くふきとってください。シンナーは絶対使用しないでください。
- 施工にあたりましては、設置スペース、床面の強度などをご確認のうえ作業を開始してください。

### 部品一覧表

天板			同梱部品		
呼称	商品コード	入数	入数	入数	入数
D600-30	NKEZ201	1	4	16	
D600-60	NKEZ202	1	6	24	
D900-30	NKEZ211	1	4	16	
D900-60	NKEZ212	1	6	24	

側板セット			同梱部品		
呼称	商品コード	入数	入数	入数	入数
D600	NKEZ004	1	8	32	
D900	NKEZ014	1	12	48	

スウィングハンガー			同梱部品		
呼称	商品コード	入数	入数	入数	入数
1型	NKEZ711	1			
2型	NKEZ712	1			

バスケット			同梱部品		
呼称	商品コード	入数	入数	入数	入数
D600-20	NKEZ501	3	6	12	
D900-20	NKEZ511	3	6	18	

方立セット			同梱部品		
呼称	商品コード	入数	入数	入数	入数
D600	NKEZ101	1	8	32	
D900	NKEZ111	1	12	48	

棚板			同梱部品		
呼称	商品コード	入数	入数	入数	入数
D600-20	NKEZ301	1	4	8	
D600-25	NKEZ302	1	4	8	
D900-20	NKEZ311	1	6	12	
D900-25	NKEZ312	1	6	12	
D900-25S	NKEZ313	1	4	8	

伸縮パイプ			同梱部品		
呼称	商品コード	入数	入数	入数	入数
1型L=365~575	NKEZ611	1	6		
2型L=575~875	NKEZ612	1	6		
3型L=875~1175	NKEZ613	1	6		

連結部材			同梱部品		
呼称	商品コード	入数	入数	入数	入数
D600	NKEZ221	2	6	6	12
D900	NKEZ222	2	10	10	20

中仕切り			同梱部品		
呼称	商品コード	入数	入数	入数	入数
D600	NKEZ102	1	4	16	
D900	NKEZ112	1	6	24	

可動棚			同梱部品		
呼称	商品コード	入数	入数	入数	入数
D900-40S	NKEZ315	1	8		

固定パイプ			同梱部品		
呼称	商品コード	入数	入数	入数	入数
L=220	NKEZ621	1	4		

回転クローゼット			同梱部品		
呼称	商品コード	入数	入数	入数	入数
D900-60	NKEZ721	1			

天井板・背板セット			同梱部品		
呼称	商品コード	入数	入数	入数	入数
D900-60	NKEZ011	1	2	2	
D900-90	NKEZ012	1	3	4	
D900-120	NKEZ013	1	4	5	

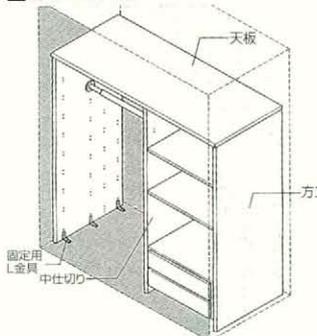
引出し			同梱部品		
呼称	商品コード	入数	入数	入数	入数
D600-20	NKEZ401	1	4	8	
D600-25	NKEZ402	1	4	8	
D900-20	NKEZ411	1	6	12	
D900-25	NKEZ412	1	6	12	

フランコパイプ			同梱部品		
呼称	商品コード	入数	入数	入数	入数
L=434~734	NKEZ631	1			

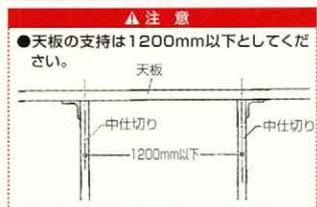
寝具用中棚			同梱部品		
呼称	商品コード	入数	入数	入数	入数
D900-35	NKEZ316	1	12		

### 標準タイプの施工手順

#### 1 構成と各部名称

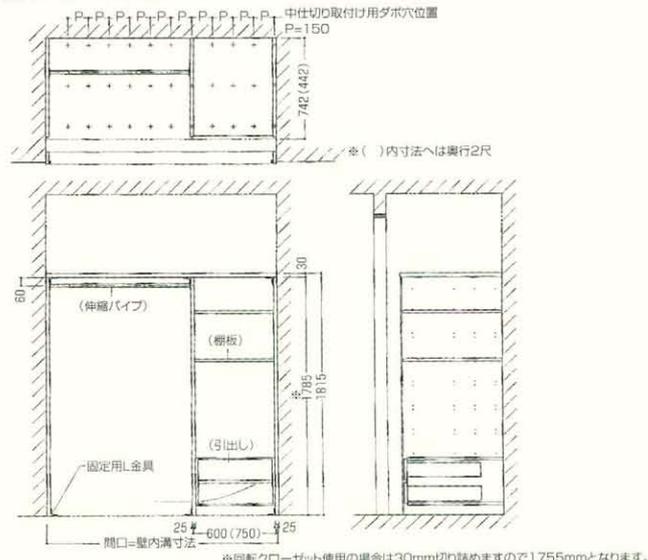


※図は奥行3尺タイプを示します。



固定用パーツ	間口調整パーツ
●引出し	●伸縮パイプ
●バスケット	●可動棚
●棚板	
●寝具用中棚	
●スウィングハンガー	の取付スペースはP.440
●回転クローゼット	を参照

#### 2 標準納まり図(奥行3尺タイプ)



※回転クローゼット使用の場合は30mm切り詰めますので1755mmとなります。

商品の色は、印刷の特性上、実物とは多少異なる場合がございますのでご了承ください。  
掲載価格には、消費税、ガラス代(ガラス組込商品を除く)、組立代、取付費、運賃等は含まれておりません。

**商品特長  
商品一覧**

- 室内ドア
- 室内引戸
- 可動  
間仕切り
- クローゼット  
ドア
- 玄関収納
- 造作材  
(DS窓枠)
- 造作材  
(定尺材)
- 腰壁
- 収納
- 手すり

**規格表**

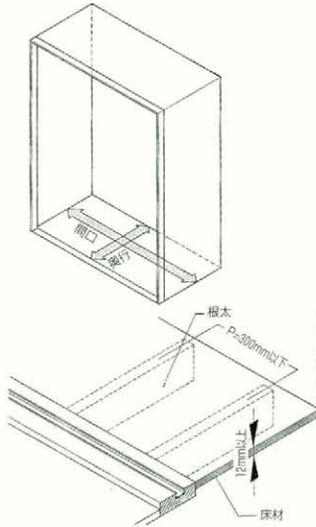
- 室内ドア
- 室内引戸
- 可動  
間仕切り
- クローゼット  
ドア
- 玄関収納
- 造作材  
(DS窓枠)
- 造作材  
(定尺材)
- 腰壁
- 収納
- 手すり
- 有償部品

**特注対応品**

- ガラス寸法
- 基本寸法  
納まり図
- 組立施工説明  
お手入れ方法
- 発注書
- 用語解説  
索引

**3 施工前作業及び施工前の確認**

●取付けスペースの開口、奥行寸法を確認してください。



●床強度の確認

- ・床強度は、フローリングまたは合板張りで、厚さ12mm以上を基準としています。
- ・既存の押入れなどの改装で、床材が薄い場合は、その上に9mm以上の合板などを増し張りしてください。
- ・特に収納量が多くなることが予想される場合は、根太間隔を狭くするか、15mm以上の床材を張るようにしてください。

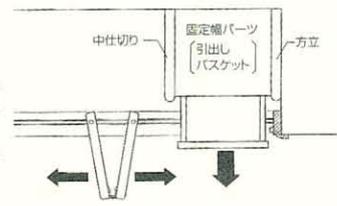
●内部仕上げは施工前に

- ・収納スペース内部をビニールクロスなどで仕上げる場合は、内部収納の施工前に行ってください。

●扉吊元の確認(クローゼット扉の場合)

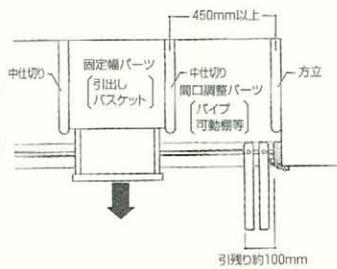
▶吊元が可動式(フリー・フルオープンタイプ)扉の場合

- ・引出し、バスケットを左右の端に設置する場合は、クローゼット枠に当たらないようにご注意ください。
- ・天板は、方立・中仕切りの位置を決めてから切断してください。
- (天板の切断) 参照



▶吊元が固定式(ヒボットタイプ)扉の場合

- ・扉の引残りが約100mmあります。(引出し、バスケット)を使用する場合は扉に当たらないように配慮してください。
- ・中仕切を使用して、固定幅パーツは中央部に、吊元側は開口調整パーツを使用すると有効にご使用いただけます。



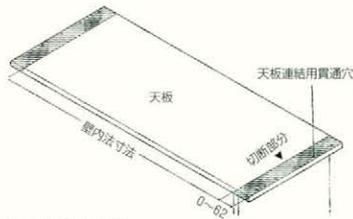
**4 施工手順**

①天板の切断

1) 固定幅パーツを収納部のどこに取付けるかを決め、天板の片側を切断します。(下図「天板の切断方法」参照)

※通常は小壁がないか、小さい方からパーツを納めるような配置とし、そこから天板を切り始めます。

※フリーフルオープン扉で、端に引出し(バスケット)を取付ける場合は、「天板の切断方法」①又は②に従ってください。



2) 収納部全体の開口に合わせてもう一方を切断します。

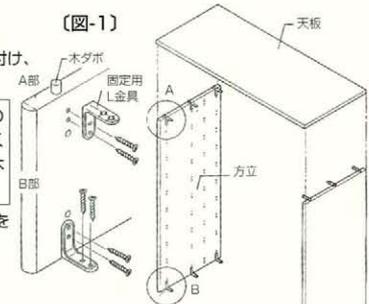
②方立・天板の組立て(図-1)

●方立(左右)の上下部分にL金具を取付け、仮置きして天板をのせます。

※天板の切断寸法によっては、片側の方立の木ダボが天板の穴に合わなくなる場合もありますが、その場合は木ダボを切断してご使用ください。

●水平・垂直を確認し、床面側のL金具を取付けねじで固定します。

(図-1)

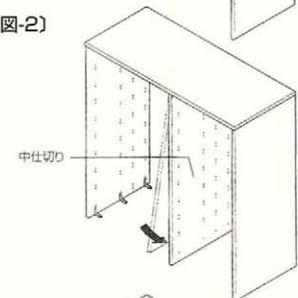


③中仕切りの取付け(図-2)

●中仕切り上部の木ダボを天板の穴に差込んで立てます。

※中仕切りの上部に付いている木ダボは、パーツを納めるための直角と開口の案内になっています。

(図-2)

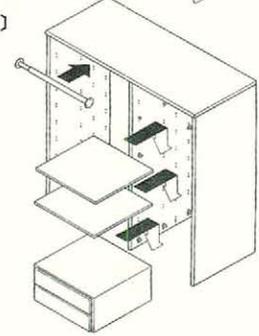


④パーツ類の取付け(図-3)

●プランに従って各パーツを取付けます。

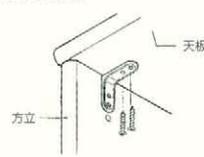
※パーツの取付けについては「各パーツの取付け」を参照してください。

(図-3)



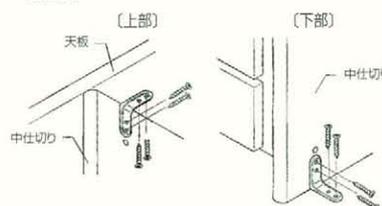
⑤方立上部L金具の固定

●各パーツが取付け終わりましたら、水平・垂直を確認した後、方立上部のL金具を天板に固定します。



⑥中仕切り上・下固定用L金具の取付け

●中仕切りの上下にもL金具を取付けて固定します。



●天板の切断方法(右側から切断を始める場合)

留意事項	右端から固定幅パーツを設ける場合(左から納める場合は逆)		開口調整パーツのみ取付可能
	引出し、バスケット可	※フリーフルオープン扉	引出し、バスケット不可
天板の切断及び方立位置	①	②	③
	④	⑤	⑥
	⑦	⑧	⑨
	⑩	⑪	⑫
プラン例	⑬	⑭	⑮
	⑯	⑰	⑱
	⑲	⑳	㉑
	㉒	㉓	㉔

# クローゼット内部収納 組立施工説明 デラックス(DX) ②

## 商品特長 商品一覧

- 室内ドア
- 室内引戸
- 可動  
間仕切り
- クローゼット  
ドア
- 玄関収納
- 造作材  
(DS窓枠)
- 造作材  
(定尺材)
- 腰壁
- 収納
- 手すり

## 規格表

- 室内ドア
- 室内引戸
- 可動  
間仕切り
- クローゼット  
ドア
- 玄関収納
- 造作材  
(DS窓枠)
- 造作材  
(定尺材)
- 腰壁
- 収納
- 手すり
- 有償部品

## 特注対応品

## ガラス寸法

## 基本寸法 納まり図

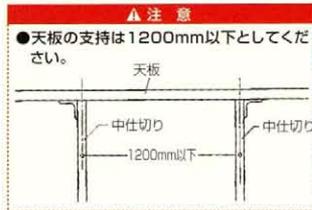
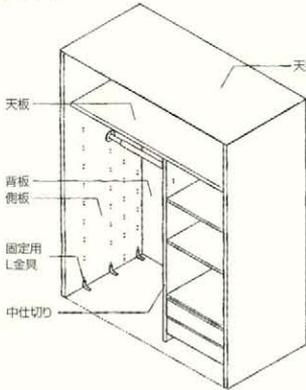
## 組立施工説明 お手入れ方法

## 発注書

## 用語解説 索引

### ■内装化粧タイプの施工手順

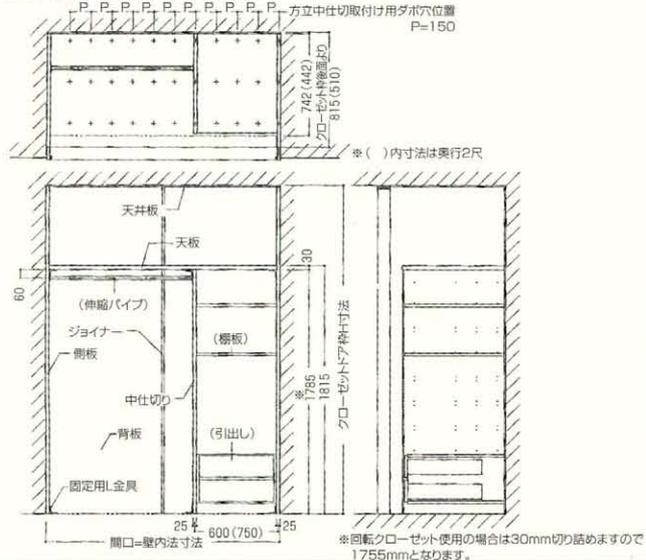
#### 1 構成と各部名称



固定幅パーツ	間口調整パーツ
● 引出し	● 伸縮パイプ
● バスケット	● 可動棚
● 棚板	
● 覆板用中棚	
● スウィングハンガー	
● 回転クローゼット	

● スウィングハンガーの取付スペースはP.440  
● 回転クローゼットを参照

#### 2 標準納まり図 (奥行3尺タイプ)



#### 4 施工手順

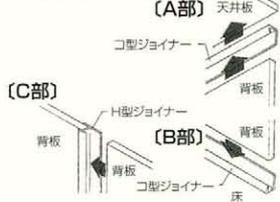
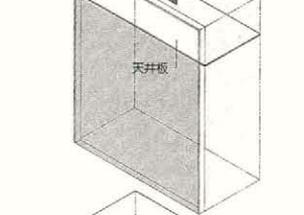
##### ① 天井板の取付け (図-1)

天井板を市販のカラークギ等で取付けます。



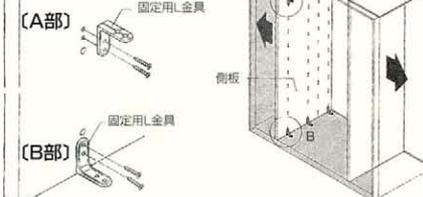
##### ② 背板の取付け (図-2)

- 付属のコ型ジョイナーを背板部の床面と天井面にタッカーなどで取付けます。
- 背板をはめ込んでセットします。背板と背板の継ぎ目はH型ジョイナーを使用します。
- 市販のカラークギ等で、背板を下地の横胴線に固定します。



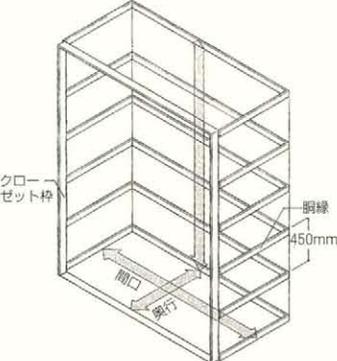
##### ③ 側板の切断と仮置き (図-3)

- 床面から天井面までの高さに合わせて、側板の上部を切断します。
- 側板のガイド穴にL金具を取付け、仮置きします。



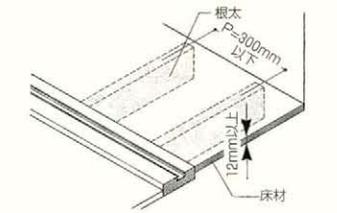
#### 3 施工前作業及び施工前の確認

- 取付けスペースの確認
  - ・ 取付け下地組みが、指定通りになっているか、間口・奥行・高さ等を確認してください。
  - W=クローゼット枠外寸法
    - D=900用=815mm (クローゼット枠見返し面から下地面まで)
    - D=600用=510mm (クローゼット枠見返し面から下地面まで)
  - H=2400mm以下
- ※ 奥行寸法は、下地胴線の厚さで調整してください。



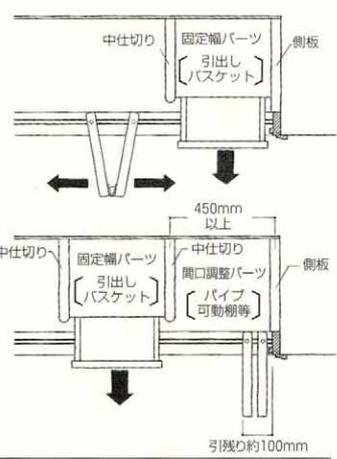
#### ● 床強度の確認

- ・ 床強度は、フローリングまたは合板張りで、厚さ12mm以上を基準としています。
- ・ 特に収納量が多くなることが予想される場合は、根太間隔を狭くするか、15mm以上の床材を張るようにしてください。



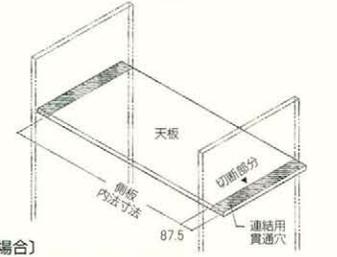
#### ● 扉吊元の確認 (クローゼット扉の場合)

- 吊元が可動式 (フリー・フルオープンタイプ) 扉の場合
  - ・ 引出し、バスケットを左右の端に設置する場合は、クローゼット枠に当たらないようにご注意ください。
  - ・ 天板は、方立・中仕切りの位置を決めてから切断してください。
  - (天板の切断) 参照
- 吊元が固定式 (ピボットタイプ) 扉の場合
  - ・ 扉の引残りが約100mmあります。(引出し、バスケット)を使用する場合は扉に当たらないように配慮してください。
  - ・ 中仕切を使用して、固定幅パーツは中央部に、吊元側は間口調整パーツを使用すると有効にご使用いただけます。

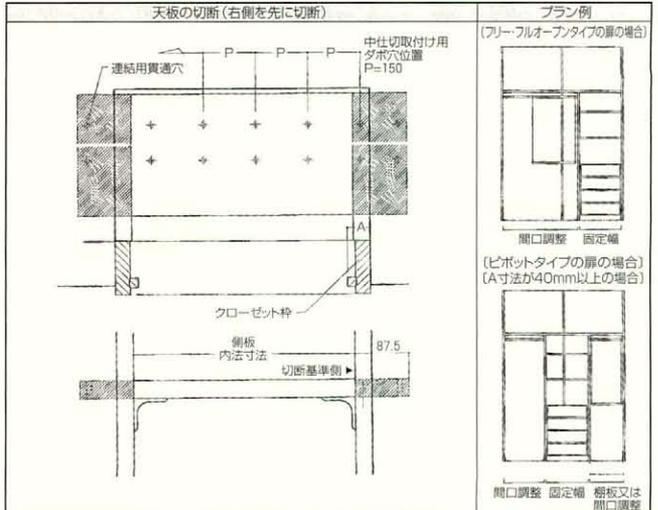


#### ④ 天板の切断 (図-4)

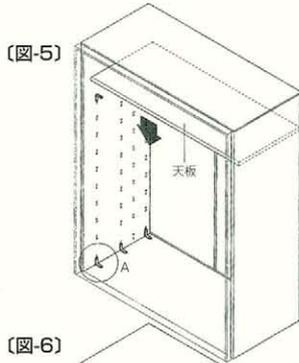
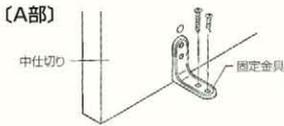
- 固定幅パーツを収納部のどこに取付けるかを決め、天板の片側を切断します。(下図「天板の切断方法」参照)
  - 左右側板の内法寸法に合わせて天板のもう一方を切断します。
- ※ パーツを右端から納める場合は右側を、左端から納める場合は左側に先に切断します。



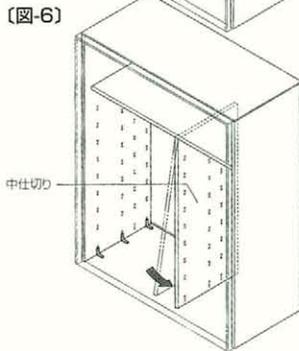
#### ● 天板の切断方法 [右端からパーツを納める場合]



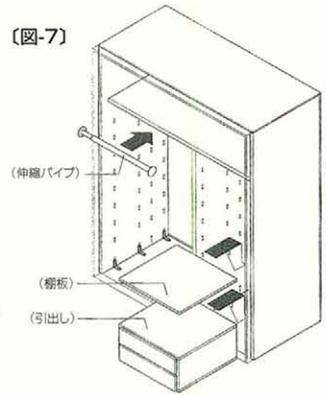
- ⑤ 天板のセットと床側L金具の固定(図-5)  
 3) 天板を側板に取付けたL金具の上に乗せます。  
 4) 水平・垂直を確認し、床面側のL金具を取付けねじで固定します。



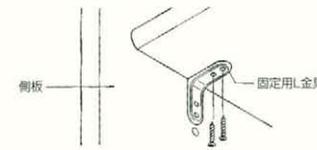
- ⑥ 中仕切りの取付け(図-6)  
 ● 中仕切り上部の木ダボを天板の穴に差込んで立てます。  
 ※ 中仕切りの上部に付いている木ダボは、パーツを納めるための直角と間口の案内になっています。



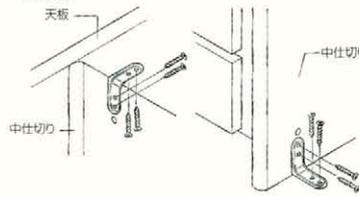
- ⑦ パーツ類の取付け(図-7)  
 ● プランに従って各パーツを取付けます。  
 ※ パーツの取付けについては「各パーツの取付け」を参照してください。



- ⑧ 側板上部L金具の固定  
 ● 各パーツが取付け終わりましたら、水平・垂直を確認した後、側板上部のL金具を天板に固定します。



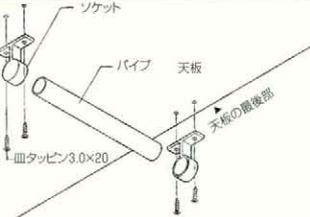
- ⑨ 中仕切り上・下固定用L金具の取付け  
 ● 中仕切りの上下にもL金具を取付けて固定します。



■ 各パーツの取付け

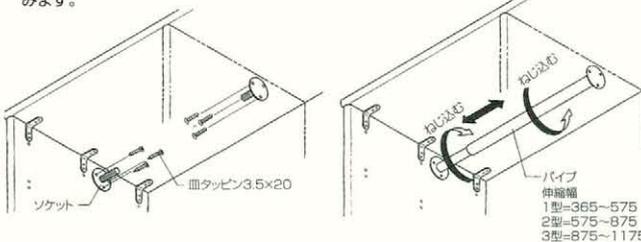
1 固定パイプの取付け

- 固定パイプは天板または可動棚の下面に取付けます。



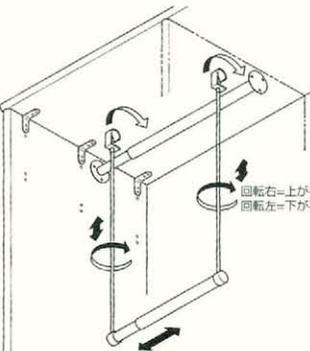
2 伸縮パイプの取付け

- 両側のソケットを同梱のねじで取付けた後、パイプを回しながらボルトの根元まで締めます。



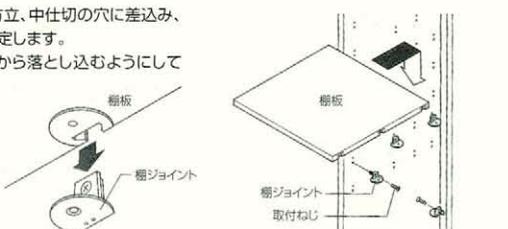
3 ブランコハンガーの取付け

- ブランコハンガーは伸縮パイプに吊下げます。  
 ※ パイプ径の違いで斜めになる場合は、吊下げボルトを回し、パイプが水平になるように調整してください。



4 棚板の取付け

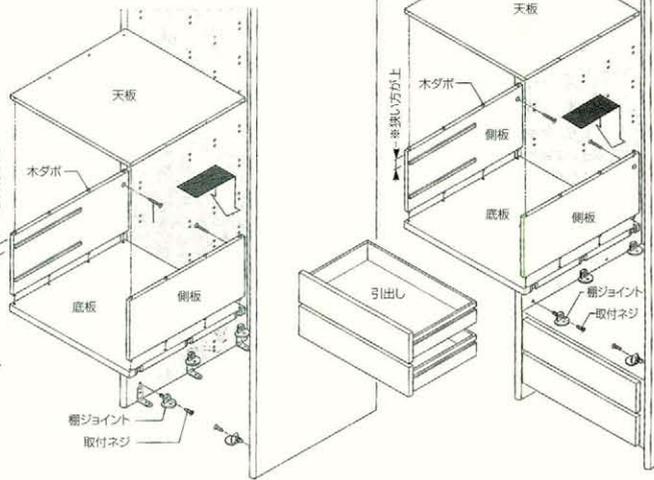
- 棚ジョイントを方立、中仕切りの穴に差込み、取付けねじで固定します。  
 ● 棚板は、その上から落とし込むようにしてはめ込みます。



5 引出しの取付け

- 1) 棚ジョイントを方立、中仕切りの穴に差込み、取付けねじで固定します。
- 2) 底板を、棚板と同様に上から落とし込むようにして、棚ジョイントにはめ込みます。
- 3) 底板のダボ穴に合わせて左右の側板をセットし、固定ねじで方立、中仕切りに固定します。
- 4) 側板の木ダボに合わせて天板をセットします。
- 5) 引出しはスリザンに合わせて差込みます。  
 ※ 側板の上下にご注意ください。

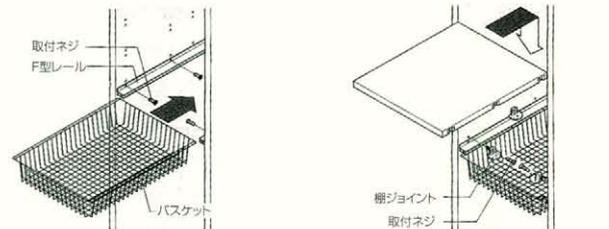
- (引出しの上に引出しを取付ける場合)  
 ・引出しの上に引出しを取付ける場合も棚ジョイントを取付けてから引出しを取付けてください。  
 ※ 直接下の引出しの上には乗せないでください。



6 バスケットの取付け

- F型レールを方立あるいは中仕切りの穴に、取付けねじで固定します。  
 ● バスケットはF型レールにスライドさせてセットします。

- (バスケットの上に棚板を取付ける場合)  
 ・棚ジョイントを使用して棚板を取付けてください。  
 ※ F型レールの上には乗せないでください。



商品特長  
商品一覧

室内ドア
室内引戸
可動 間仕切り
クローゼット ドア
玄関収納
造作材 (DS窓枠)
造作材 (定尺材)
腰壁
収納
手すり

規格表

室内ドア
室内引戸
可動 間仕切り
クローゼット ドア
玄関収納
造作材 (DS窓枠)
造作材 (定尺材)
腰壁
収納
手すり
有償部品

特注対応品

ガラス寸法
基本寸法 納まり図
組立施工説明 お手入れ方法
発注書
用語解説 索引

# デラックス(DX) ③

商品特長  
商品一覧

室内ドア
室内引戸
可動 間仕切り
クローゼット ドア
玄関収納
造作材 (DS窓枠)
造作材 (定尺材)
腰壁
収納
手すり

規格表

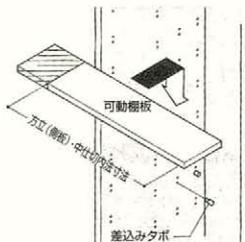
室内ドア
室内引戸
可動 間仕切り
クローゼット ドア
玄関収納
造作材 (DS窓枠)
造作材 (定尺材)
腰壁
収納
手すり
有償部品

特注対応品

ガラス寸法
基本寸法 納まり図
組立施工説明 お手入れ方法
発注書
用語解説 索引

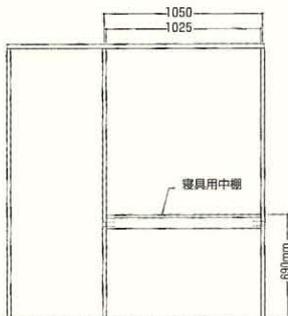
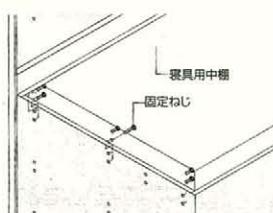
### 7 可動棚の取付け

- 可動棚は1200mmありますので、適宜切断してご使用ください。
- 取付けは差込みタボを差込んでその上に乗せます。



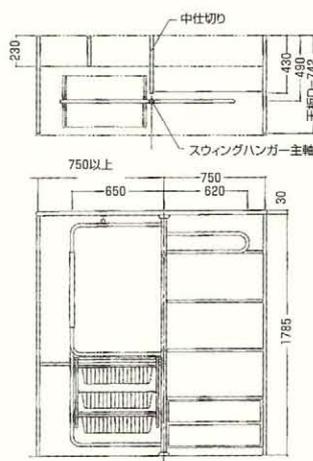
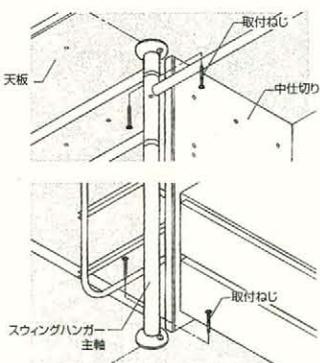
### 8 寝具用棚の取付け

- 方立(側板)・中仕切りの穴に高さを含ませて、固定ねじで取付けます。
- ※取付け高さは、棚上端まで690mmが標準ですが、使用方法に合わせて、上下にずらしてもご使用いただけます。



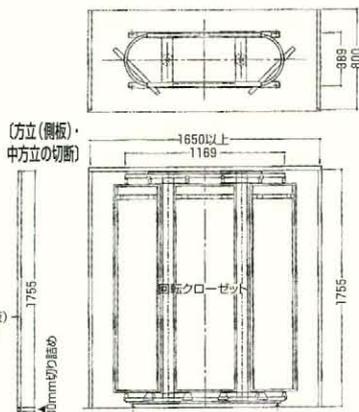
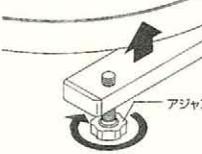
### 9 スウィングハンガー1・2型の取付け

- 必ず中仕切りを使用し、パイプの主軸が中仕切りの中心と同じ位置になるように取付けてください。
- ハンガーの主軸位置(中仕切り位置)と、右側の方立(側板)との間隔は750mmにしてください。
- ※スウィングハンガーの左右逆取付けはできません。
- ※スウィングハンガーの組立て方法はパーツの梱包に同梱されています。



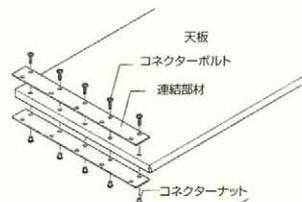
### 10 回転クローゼットの取付け

- ➡回転クローゼットを設置する場合、あらかじめ方立(側板)及び中仕切りの下部を30mm切り詰めた後、本体を手順にしたがって組立てます。
- 本体組立て後、回転クローゼットの4本のアジャスターを短めにセットして仮置きします。
- 水平を調整しながらアジャスターを回転させ、天板に接するまで上げてください。
- ※9尺以上の間口で回転クローゼットを使用する場合、天板の連結部が上にこないように位置を設定してください。
- ※回転クローゼット組立て方法はパーツの梱包に同梱されています。



### 11 天板の接続(間口9尺・12尺)

- 天板は、両端部にあいた連結用穴に、連結部材を使用して接続します。
- ※天板の切断を行う際、接続面側を切断しないようにご注意ください。
- 接続は、片側の天板に連結部材をゆるめに仮付けし、方立、中仕切りにセットした後、もう一方の天板を差込むように取付けます。



- ※天板を先に接続して、片側だけを持つことは絶対にしないでください。



- ※方立、中仕切りの間隔が1200mm以上にならないようにしてください。



- ※接続用ボルトは十分に締付けてください。

